

編集兼発行責任者  
井上まゆみ

〒157-0064  
東京都世田谷区給田2-1-1  
電話 03(3300)2351

# 校報

校報の発行目標

- 一、学校教育の向上
- 二、学校と家庭の連絡
- 三、学校生活の記録

## 感動を創る



学校長 山内日出夫

### 震災

この春休み、私は郷里である福島県の会津若松市へ帰ってきました。

震源地から、また原発から100キロ余り離れていても、家が倒壊したり、屋根の瓦が落ちたり、土地の液状化にもみまわられていました。

その様な中で、私の知人も家屋の倒壊で亡くなりました。

被災地のひとつである原発地域の大熊町からは、行政機関を始めとして町、住民丸ごと会津若松市へ避難し、人々が廃校となった学校で生活をしています。

商店街を歩く人も限られ、ましてや春の農作業に追われているこの時期でも田んぼや畑で働く人もまばらでした。

直接的な被災地でない私の町でもこの様子でしたから、被災地では、日々のニュースで伝えられる以上の過酷さの中で人々は生活しているのでしょう。

しかし人は困難に直面すると、従来のシステムや考え方を乗り越え、あるべき姿や目標を設定することができまます。こうして「新たな理想」を築いてきたのが私たちの歴史です。今回の被災から、私たちも「新たな理想」へ向け必ず立ち上がる事ができるはずなのです。

一日も早く被災地の方々に「希望の光」が灯ることを共に祈りたいと思います。

### 新世界

中学生48名高校生181名が入学してきました。

入学式は地震によって講堂の一部に破損が生じた為に、中学生は大教室(第四予備室)で、高校生は体育館で行われました。

式典も通常行われるものとは違い、私の話(訓示)を中心にごく簡素な形となりました。

新入生や保護者の皆様に対しては心苦しいものがありました。震災後の対応

として何よりも「安全」を重視することに力を置いた結果です。

また新入生を受け入れる教職員にとつては、式典は簡素であっても、いつもの様に華やいだ心持ちで、共に歩むことが出来る喜びや決意がありました。

入学式当日、在校生は各教室において校内放送による始業式を行いました。

在校生には「新入生たちは緊張いっぱい登校してきます。皆さんが入学した時に、先輩たちから頂いた中で、とても良かったと思う印象的なことを、新入生たちにしてあげて下さい」と呼びかけました。

「佼成」は人と人が交わり、事を成していく学校です。新入生と在校生は、この伝統の上に新しさを加味しながら、今年度に相応しい自分たちの「新世界」を築くはずなのです。

### 感動

心を鍛える「3大行事」のひとつ、スポーツ・フェスタの準備が始まっています。

す。

「あの先輩の様に活躍してみたい」「こんなに感動したのは初めて」といった「心のときめき」が沢山見られました。

その様な生徒たちの姿や心模様を目の当たりにしますと、学校は「感動を創るところだ」と言いたくなるのです。

これは、生徒たちが受け身ではなく、自ら進んで山の事柄に挑戦しているからその表現といえます。

学校では「頭」も「体」も「心」も鍛えていきます。いずれかに偏った鍛え方では、「喜び」といった達成感から来るはずの、次への期待感が失われます。

これは、本校で「感動を創る」精神が求められている理由であります。

ご意見・ご要望をお聞かせください

電話 03-3300-2351  
FAX 03-3309-0617

girls@kosei.ac.jp  
http://www.girls.kosei.ac.jp

# 新任挨拶



英語科  
脇坂秀樹

## 転勤生の気分で

この度、縁あって男子校より赴任致しました。高校1年留学クラスの担任です。

今回の転勤は私の人生の初で初めての転校、異動体験でもあります。さらに、男子校から女子校という、対象生徒が真反対のまさに異文化の中に身を置くことは、さぞかし苦痛で、ストレスフルになるだろうと覚悟して参りました。が、入学式からの1週間を振り返って見ると、日々の業務を楽しんでいる自分に気づきました。

その理由は職員室が共学（男子校は男の教員しかいませんでした）で、先生方が新参者の私にとっても親切、かつフレンドリーであり、雰囲気

が和やかであったからだと思います。その人柄の良さはそのまま廊下ですれ違う生徒たちや教室の雰囲気につながり、この学校こそが本来の学校ではなかったかと、思うくらいです（男子校の良さを忘れかけてきたからかもしれませんが…）。

何事でもそうですが、新たに事を始める時には、まず様子に慣れる必要があります。最初は何事にも違和感を覚えるものですが、慣れてしまえば、それが当たり前に感じるから不思議です。いつまでも違和感があるとしたら、それは過去の自分の殻に閉じこもったままだからだと思います。自分の殻を破り新たな世界に飛び出すには勇気が要りますし、苦痛を伴うものかもしれません。しかし、それらなくしては自己の成長も望めないのです。

新学期にあたり、私同様、新入生の皆さんも期待と不安で一杯だったかと思いが、現在は楽しい日々を送っているのではないのでしょうか。その意味では皆さんは過去の自分を乗り越え、自己を成長させたと言えます。しかし、是非、気持ちよく迎えてくれた本中生や勇気を奮って声をかけてくれた外進生の存

在に感謝し、将来、自分が逆の立場になったら、やさしくフレンドリーに新人を迎えてあげましょう。そんな思いやりのある環境は人を育て、同時に自らも育つものです。まさに教育とは「共育」なのです。

さあ、次の機会には私たちはどんな進化を遂げるのでしょうか。楽しみですね…。



英語科  
兼井達也

## はじめまして

はじめまして。今年度から皆さんと一緒に勉強していくことになりました。兼井達也と申します。教科は英語科で、今年度は中学1年生の副担任です。

私は小学生のときから現在に至るまで横浜市に住んでいます。中学生のときまでは公立校に通い、高校・大学と東京の私立学校に通っていました。部活動は中学・高校とバスケットボール部に所属していました。高校ではキャプテンも務めました。大学に入り、4年生の時に

アメリカの大学に留学しました。アメリカの北西部に位置するシアトルという都市です。この都市にはイチローが所属するシアトルマリナーズがあり、コーヒーのスターバックス発祥の地として有名です。大学卒業後に再び渡米し、大学院では「英語教授法」というものを学びました。これは英語を第二言語として習得するための指導法です。皆さんがより英語を楽しく学び、第二言語として使える様になってほしいと願っています。

これから、皆さんと楽しく一緒に勉強していきたいと思っています。よろしくお願ひします。



英語科  
穴澤淑衣

## ご挨拶

はじめまして。本年度より校成学園女子中学高等学校に参りました穴澤淑衣です。担当教科は英語科で高校2年生の副担任です。

私は福島県の会津地方にある磐梯山のふもとの町で生ま

れ、地元の中学校を卒業後、会津若松市内にある女子高校に進学しました。

女子高での生活は大人になつてからも付き合える親しい友人ができ、さまざまな経験の中から自分の人生の方向性を決めることになった、私にとつて大切なものでした。また、人生の中で最も勉強したのも高校生の時でした。今振り返ると、毎日がとても楽しく充実していたように思います。

この大切な時期を、みなさんにとつても充実し、有意義なものにしてほしいと思います。そのために教員として、一人の大人としてみなさんと関わり、サポートしていきたいと考えています。

大学入学時から昨年度まで茨城県に住んでいたため、茨城弁が出てしまうこともあると思いますが、できるだけ多くのみなさんと話をしたいと思っていますので気軽に声をかけてください。好きなことはスポーツをすること、読書、音楽です。ダンス部の顧問も務めています。これからよろしくお願ひします。

# 各部より

## 教務



部長  
松村泰敬

### 「確かな学力3」

今回の学習指導要領の改訂については、以前からこの校報を通じて、現行の学習指導要領との違いなどについて紹介してきました。新指導要領の適用は、すでに中学では移行措置が開始されており、平成24年度、つまり来年度、完全実施となります。また、高校では平成24年度以降入学生には一部、平成25年度以降入学生からは完全に適用されます。(現高校生には適用・実施されません。)これを受けて本校でも3年前から新学習指導要領に準拠したカリキュラム作成に取り組んでまいりました。そして、来年度、新高校1年生から一部新カリキュラム(完全実施を視野に入れた改訂)が実施されます。現高校生には影響がありませんが興味のある

方、中学生およびその保護者の方は、来年度生徒募集パンフレットに新カリキュラムが記載される予定ですので是非ご覧ください。

今回の改訂は、現学習指導要領から「生きる力」を大きくむくという理念は継承し、90年代の「ゆとり教育」からは方向転換し「確かな学力」をつけていこうという流れを具現化したものと文部科学省は説明しています。「確かな学力」をお子様につけさせたいという願いは、保護者の方々も学校長をはじめとする本校スタッフも共通です。カリキュラム表ほどの科目の授業を週に何時間行うかが示されたもので、各クラス・コースの特徴を最大限に発揮するために大切なものなので時間をかけて議論してまいりました。今までも、これから、設定された授業1時間、1時間でいかに「確かな学力」をつけていただけるか、そのために教師は何ができるか、何をしなければならぬかが、ますます重要なことであると考える努力していかなければならないと考えております。さて、本校も新年度に向けて新たな一歩を踏み出します。

今年度も、昨年度に引き続き、「楽しく、充実した授業の創出」・「英検まつりの充実」・「円滑なカリキュラム等の運営」を通して、皆様に「確かな学力」を身につけていただく努力をしていきたいと思っております。

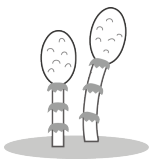
授業について、昨年度の生徒アンケートによる授業評価は、五段階評価で平均4.5というものでした。全体としては4.0以上を目標に取り組んだ結果です。マクロとしては目標を達成していますが、個々の事例では改善を図る必要がある授業もあつたと認識しています。アンケートや生徒面談などによる授業のモニタリング、教科・学年からのアプローチを続け、改善を図るとともに、さらに外部講師を招いて、評価・改善を順に図ることも行つていきます。さまざまなものさしで授業を見直すことは大切だと考えます。また、授業のルールを生徒に徹底することの大切さも常に伝えていきたいと思っております。

また、授業外での学習の取り組みも、今年度はさらに充実させたいと思っております。全校挙げての取り組みとしては「英検まつり」を今年も行

います。生徒の皆さんのがんばりとご家庭のご協力のおかげで、昨年度は英検まつりの結果、準1級9名、2級67名、準2級181名、3級236名、4級74名、5級33名の取得者が本校に在籍することとなりました。さらに今年度は、この結果を上回るべく、教材研究をはじめ、より効率的に生徒の努力が成果につながるよう進めていきたいと思っております。

授業外での学習ということになりますと、やはり家庭学習が大切となります。何らかの理由で家庭学習ができない日はあると思いますが、それ以外に家庭学習をしなくてもいい日は、基本的にはないとお考えいただきたいと思っております。家庭学習の仕方については指導して参りますので、是非ご家庭でも学習環境作りにご協力いただきたいと思っております。

以上の取り組みに対して、ご意見などございましたら参考にさせていただきますので是非お聞かせください。



# 生徒指導



部長  
片桐正雄

### 23年度の取り組み

未だに余震がおさまらない中、平成23年度がスタートしました。校内の桜も4月8日の始業式・入学式にあわせたように満開となり、いつもと変わらぬ新年度の始まりとなったものの、あの3月11日の東日本大震災の前と後では、何か日本中が今までとは大きく変わってしまったようで、その気持ちを引きずりながらのスタートとなりました。

被災地から遠く離れている本校でも、震災の影響を大きく受けました。本校管理棟の講堂が一部被害をうけて、使用できなくなり、始業式は各教室で全校放送によって行われ、また入学式も中学が大教室、高校は体育館(メインフロア)で簡素化して行われました。そして、例年は入学式の翌日、全校生徒が顔をそろえ、新しく本校の仲間となった新入生を迎えて行われる「新入生歓迎会」も中止とな

り、また新入生が宿泊をともし、佼成での生活のスタートを切る青梅の「オリエンテーション合宿」も、急遽校内オリエンテーションに変更となりました。

それでも、被災地と比べれば、人的被害もなく、学校という施設があり、教育活動が行えるだけでも有難いことと思ひ(この当たり前のことが今回の震災で如何に貴重で有難いことであるのか、身にしみて感じられました)改めて感謝の念を深くしています。

さて、今年度も生徒指導部では、「AAA(スリーエー)運動」を展開していきます。

第一は、「明るい挨拶」運動。「挨拶100%をめざして」をスローガンに、朝は「おはようございます」、授業開始は「お願いします」。終わりの挨拶は「ありがとうございます」。

校内で友達や先生・先輩・後輩にあつたら率先して「こんにちは」、昼食の時には「食前感謝のことば」、下校する時は「さようなら」。家でも「行ってきます」「ただいま」「いただきます」「ごちそうさま」。一日の終わりは「おやすみなさい」……AC(公共広告機構)のCMではありませんが、あの「ポポポポーン♪」のあいさつ

は、確かに人と人をつなげる大切な魔法のことばです。

第二は「安心できる落ち着いた環境」。震災の当日、本校は試験休みで、幸い全校生徒はいませんでしたが、部活動や講習、そしてたまたまその日から合宿だった生徒会・SF実行委員の生徒達が緊急に避難、多くは下校グループごとに引率の教員に付添われ、また保護者が迎えに来て帰宅しました。それでも53名の生徒が学校に一泊しました。みな学校の指示を守り、大きな事故もなく当日を乗りこえましたが、また、いつ何時大きな地震に見舞われるかわかりません。あのような緊急事態にどう対処すればよいか、今回はいい事前学習となりました。

今後も危機管理・緊急対応のマニュアル化を図り、安心できる学校環境を整えていこうと思ひます。

第三は「温かい助け合い」。

普段の学校生活はもちろんで、佼成ではそのために、学校をあげて、三つの学校行事「スポーツフェスタ」「乙女祭」「合唱コンクール」があります。自分のために悩むより人のために悩み考え工夫する、そしてそれぞれの行事を通して、さまざまな困難やトラブルにぶ

つかり、クラス全員で知恵を出し合い、解決し、乗り越えて、心を成長させること。それが三大自然の目的です。今年度は、日本中が「絆」「団結」「助け合い」をテーマに大きな困難に立ち向かっているようにしています。ここ佼成でも「温かい助け合い」がどンドン広まっていくことと信じています。

# 進路指導



部長 田中延佳

## 次のステージへ 団体戦で取組んだ受験

高校の3年間は、「自己実現」のための準備をする期間です。佼成女子は、その校名の通りに人が人と交わりながらお互いに成長していくことを学校方針としています。人の関わりの中で自分と自分の将来を考え、成長していつかほしいというのが、進路指導部の願いです。

生徒のみなさんは、一人ひとり素晴らしい可能性を持っています。その可能性の中か

ら、一つの進路を「選択」し、実現していくのが「自己実現」です。その「選択」のための基準を自分の「10年後の姿」に置いて、自分の進路や生き方を考えていく力を養うのが進路指導部としての役割でもあります。

また、それぞれが「選択」した進路の実現に向けてサポートしていくことが、進路指導部のもう一つの役割です。

本校では、本校教員による進路講習の他に、予備校の講師を招いての講習室講習を実施しています。

講習室講習を導入して6年目の昨年度も難関校をめざした生徒たちの多くが自分の目標を叶えることができました。

本校の目標校である難関大学への現役合格結果は以下の通りです。

東京理科大学	5名	G・MARCH	41名
学習院大学	2名	明治大学	5名
青山学院大学	12名	立教大学	3名
中央大学	9名	法政大学	10名
三大女子大学	25名	津田塾大学	4名
日本女子大学	18名	東京女子大学	3名

これらの難関校へ合格した生徒の多くが講習室で学習に取り組んだ生徒たちです。

センター試験を3日後に控えた合宿の最後に行った総括の中で、何人もの生徒たちが「この仲間だから頑張れた。」「一人ではなく、支えあつて1年間の受験勉強を乗り越えた」と1年間の講習室での勉強を振り返りました。

今年の合格大学の中で、特筆すべきことは、お茶の水女子大学への合格です。講習室を設置して以来、初めて5教科7科目型の国公立大学への合格者を出すことができました。

これは、近年の著しい大学合格状況の向上を反映して、本校に入学してくる生徒の学力

層が向上してきていることに加え、本校の教員一人ひとりの授業力の向上、さらには講習室体制の充実という三つ質の向上を受けてのことです。

今年度は、さらに最難関大学対策、国公立への対策を強化し、講習室の質をさらに改善していきたいと考えています。そのために、今年以上の国語力の強化、小論文指導体制の充実を図るとともに、今まで以上にすべての学力層の底上げをめざしたいと考えています。

今年度も一人ひとりの生徒の可能性を伸ばすことはもちろん、学力だけでなく人間性を育て、講習室に参加した全員が協力し合う団体戦でそれぞれの目標の実現をめざしていきたいと思えます。

# 国際交流



部長  
六戸崇哲

今年で9年目となる新留学クラスは39名の生徒を迎えて、スタートすることとなりました。

国際交流部の活動はKCGS

留学コース1年生の事前指導、2年生の現地留学のケア、中学・高校の海外修学旅行の企画運営、オーストラリア語学研修の企画運営などといった、

生徒が海外へ出かけていくような活動とヤングアメリカンズや短期留学生を日本で受け入れる活動など多岐にわたります。以上の様な活動を通して、生徒が国際的な視野を持つて、複雑な世界情勢を理解していくことや、真の意味での自己表現を可能にして、国際社会を舞台に活躍できるコミュニケーション能力を養成していきます。さらに人格教育の側面からは、他者と協力しながらあらゆる困難を乗り越えられるようになることも目標としています。

まもなく、7期生(2F)の生徒たちは現地第二学期に入ります。一学期終わりに担任の崎山先生が、ネイピア、タウランガ地区の現地校およびホストファミリー訪問を行いました。担任の報告とビデオに映っている生徒たちの楽しそうな笑顔を見て、ほっと安心したのと同時に、日々のさまざまな困難に向かう生徒たちの努力を心から支えたいという気持ちになりました。本校留学コースの特徴は事前教育期間

# 新年度にむけて



中学主任  
二木宏明

## 中学学年方針

満開の桜の下、にっこり笑顔で撮ったクラス写真。48名の可愛い新入生が爽やかな風と共に校成学園女子中学校に入學してきました。

3月の東日本大震災の影響でいつもの広い講堂と異なり、大教室にて入学式が執り行われました。厳かで、でも温かい雰囲気になったと思います。

今年度は、中学2年生が72名、中学3年生が52名、全体で172名となりました。本校では中学全生徒を、中学全スタッフで見守っていきます。

4月13日には毎年恒例の、「中学新入生歓迎会」が行われました。中学議長団が話し合い、楽しい企画を準備してくれました。3学年を縦割りし、班に分け、班ごとに自己紹介をし、班対抗スリッパラリーで盛り上がりました。上級生のもてなしに、新入生はちよと照

れながらも楽しんでいました。

『学校は勉強をするところ』、私がよく口にする言葉です。私立の本校に入学したからには、しっかり学習に取り組んでください。もちろん勉強だけがすべてではありません。多くの友人を作り、さまざまな行事を経験し、大きく心も体も成長することも願っています。この一年間、活気溢れる中学校にいきましょう！

### ★中1学年目標

- 『新しい自分に変身！』
- 『中学校生活を楽しくしよう！』
- ①信頼できる仲間になろう。
- ②一生懸命やってみよう。
- ③人から学ぼう。

1年生は本校でさまざまな経験をして、今までと違う新たな自分変わって欲しいと思っています。そして、新しい環境を楽しんで欲しいと願っています。不満や戸惑いをひとまずおいて、「やってみよう！」と何でも思い切つてチャレンジしてください。それが、何より一人ひとりを成長させてくれるはずですよ。

★中2学年目標

『思いやりの心く仲間と仲良く生活できる生徒』  
『自分からしっかり学ぶ』の教科も授業に集中して取り組む』  
『中堅学年としての自覚』自らの行動に責任を持って最後までやり遂げる』

2年では自主性と連帯を生かすことができるようなクラス作りを目指していきます。自分自身は何をすることが大事なことなのか、自分と人の関わりの中で何が最も必要なことなのか。集団や社会との関わりの中で、自分らしく生きるにはどうしたらいいのか、深く心を見つめ、自問自答しながら毎日を通して欲しいと願っています。

★中3学年目標

『がんばろう中3！』  
高校進学に向けて積極的に取り組もう！  
①学習面：高校コース進学基準を全員突破しよう。  
②生活面：中学最上級生らしい言動をとろう。  
③行事：助け合って心に残る思い出をつくろう。

3年生は義務教育最後の学

年です。今年には自分の将来を見据えて高校コース選択をしなければいけません。学習はもろろんのこと、普段の生活態度も含めて高校進学に影響します。中学最上級生としての自覚を持ち、積極的な取り組みで、自分の進路を切り拓いてください。応援しています。



高一学年主任  
有路恵造

高校新人生へ

風薫り、新緑がまぶしく感じられる季節になってきました。厳しい冬を超えて、すべてが生き生きと胎動を始めています。高校1年生も今まさに、それぞれの目標に向けてス

タートをきりました。

人はとかく易きに流されま

す。楽な方、楽な方いきが

ちです。でも、自らを律する

力を育ててほしいと願っています。まずは、一年間365日どんな状況の日でも、15分は机に向うよう自分を律してください。15分は30分、1時間と延長する可能性が充分あります。君たちは若く柔軟な頭脳を持っていきます。多くの生徒は、それを使い切らないで過ごしてきました。埋もれたままになつていける能力を、残らず発揮できるように努力をしてください。努力の過程においては、「私はこんなことも知らない。」「私はこんな易しい問題も解けない。」ということをやというほど思い知らされま

す。自分の無知やふがいなさを知り、それによつて落ち込み、すべてを投げ出したくなることもあるでしょう。でも、ここで投げ出したら、すべてがそのレベルで終わってしまいま

す。一歩でも二歩でも前進するために、自分の無知と直面したときこそ努力でそれを乗り越える必要があります。また、私たちの高校生活がい

ともあります。それを乗り越

えるときに、いい友達がそばに

いてほしいですね。お互いの心

を開くことで友達への理解が

深まります。行事のときなどが、心を開く機会になります。共に過ごす時間を大切に

してほしいと思います。震災の報道が続く中、思うことを述べます。私たちは、家族やクラス、学年の集団の中で生活し、自分と向き合い自己研鑽を繰り返しながら成長していきます。高校生ぐら

いの年齢になれば、自分が所属する社会に自発的に貢献することを求められます。自分本位な言動を繰り返している様では幼稚すぎます。一人で生きているではありません。集団の中でお互いに影響しあいながら生きているのです。君たちには、自分を高める努力と、人の役に立つための努力を期待しています。



高二学年主任  
浦田さゆり

高2の心構え

高校2年という学年は、一般的に「中だるみ」が出やすい学年だといわれています。高校

生活にも慣れ、しかも受験本

番までほんの少し間がある。そこに何となく気の緩みが出てしまふのです。

しかし、2年生での学習への取り組みは、進路に直接的に結びつきます。また、本校の高2は行事に際して全校を率い、リーダーシップを発揮しなければならぬ中核学年です。生徒会役員や各部・委員会の長などの役割を果たすよう求められます。つまり、「中だるみ」などしている余裕はないのです。

そこで、高校2年での学年目標は次の4項目としました。

- 一、自宅学習を徹底しよう
- 一、自己実現できる進路目標を確定しよう
- 一、思いやり、助け合いの心をもつて行動しよう
- 一、中核学年としての自覚を持とう

昨年度9月のスタディーサポートと同時に実施した「学習状況リサーチ」では、自宅学習に関して残念な結果が出ました。学年通信でも一部報告はしましたが、「英語の学習を必ずしている」生徒が、学年全体の37.8%しかないという情けない状況でした。予習を

せずに授業を受けたら理解できないのは当たり前です。

これはあくまでも一例ですが、それから約半年。生徒達の意識がどれほど変わったか、4月のスタディーサポーターの結果を待ちたいと思います。いずれにせよ、普段の学習の積み重ねがあつて、はじめて目標の進路が実現できるといふのです。「また2年ある」というのではなく、「もう2年しかない」という意識を持つてください。

行事に関して言えば、生徒たちは派手さはないものの、各自ができることを誠実にやってくれています。この学年では更に、学校全体の動きを見る余裕を持ち、その中で自分がすべきことを見極められれば合格です。

そして一学期末には高校生活で最大のイベントである修学旅行も控えています。とにかく、一度しかない人生です。一人ひとりが主人公だという自覚を持ち、毎日が充実したものとなるよう期待しています。



高三学年主任 山口典子

### 学年目標 道を切り開こう

先日、駅でばったり卒業生と出会いました。

その人は中学時代に病気で3年遅れ、本校に入学してからも欠席がちで、本人も周囲もヒヤヒヤしっぱなしの高校生活でした。

今、保険会社で外交の仕事をしているのだそうです。体調は万全ではないけれど毎日出勤している、ただ、朝起きるのはつらい、保険と言うと嫌がられ冷たくされるが、時にはかわいがってくれるお客さんもある、とのことでした。「ほめて育てる、とよく言うけれど、叱られてこそわかること・伸びることもある。私は叱られて良かったと思う。」と話してくれました。

そうか、そうか、新しい世界でがんばっているんだね。

合宿の時、クラスで自分の病気について話した。SFでは全員リレーを走った。卒業の日、実は3歳年上だと打ち明けた(あの時はみんな驚いたっけね)。

ね)。ああして少しずつ強くなっていたんだね。

小さい時からの友達が誘ってくれて今の会社に入ることになった。ああそうか、友達も助けてくれたんだ。

目の前に転がっている石ころも、鬱蒼とした藪も、無意味に感じることも、邪魔だと思ふもの、全てが成長の足がかりです。家族が支えてくれます。私たちも応援します。そして友達と助け合つて道を切り開いていきましょう。自分の道は自分で切り開くしかありません。

今年度も元気にやっています。

学級目標(スローガン?)をご紹介します。

A組 夢を叶えて門出する。

B組 なかよしで かつぱつ のびのびとして たくましい けだかい しようじよたち

C組 有言実行

D組 がんばる!

E組 明日にときめけ、夢にときめけ! E組のE組によるE組の為の合格

あははじゃない!! 明日やろうは ばかやろう!

### 部活動顧問紹介

#### 体育部

##### ●バスケットボール

松田 登  
山室 佳子

##### ●ハンドボール

結城 葉月  
石川 浩和

##### ●ソフトテニス

安藤 希沙  
松村 泰敬

##### ●陸上競技

大室 光徳  
内山 立人

##### ●ダンス

二木 宏明  
穴澤 淑衣

##### ●バドミントン

鶴田 充加  
山口 典子

##### ●バレーボール

兼井 達也  
白谷 朋子

##### ●バトン

田中 延佳  
橋谷 夏実

##### ●卓球

守屋 嘉代  
佐野 陽子

##### ●水泳

山室 隆則  
山室 佳子

##### ●剣道

真木 恒志郎  
片桐 正雄

##### ●ソフトボール

吉村 直人  
有路 恵造

#### 文化部

##### ●吹奏楽

##### ●書道

##### ●写真

##### ●合唱

##### ●茶道

##### ●美術

##### ●軽音楽

##### ●演劇

##### ●軽音楽

##### ●美術

##### ●軽音楽

##### ●演劇

##### ●軽音楽

##### ●演劇

##### ●軽音楽

##### ●演劇

##### ●軽音楽

##### ●演劇

##### ●軽音楽

##### ●演劇

##### ●軽音楽

##### ●演劇

##### ●軽音楽

##### ●演劇

##### ●軽音楽

##### ●演劇

##### ●軽音楽

##### ●演劇

##### ●軽音楽

##### ●演劇

##### ●軽音楽

##### ●演劇

##### ●軽音楽

##### ●演劇

##### ●軽音楽

##### ●演劇

渡邊 美由紀

松本 一禎

崎山 隆則

堀辺 洋一

櫻井 直毅

在原 久雄

鈴木 圭子

浦田 さゆり

山田 美子

戸延 正子

中野 健

嘉戸 香奈江

井上 政子

須賀 好美

有路 恵造

嘉戸 香奈江

須賀 好美



# 平成23年度 教職員配置

校長 山内 日出夫  
教頭 江川 昭夫  
井上 まゆみ

## ●分掌責任者

教務部 松村 泰敬  
生徒指導部 片桐 正雄  
進路指導部 田中 延佳  
国際交流部 宍戸 崇哲  
広報室 江川 昭夫

## ●学年主任・担任 中学

1-1 (責任者) 橋谷 夏実  
1-2 守屋 嘉代  
2-1 (責任者) 在原 久雄  
2-2 井上 政子  
3-1 (主任) 二木 宏明  
3-2 鈴木 圭子  
山室 佳子  
金子 芳夫  
兼任 達也

高一学年  
A組 堀辺 洋一  
B組 (主任) 有路 恵造  
C組 白谷 朋子  
D組 須賀 好美  
E組 脇坂 秀樹  
副担任 真木 恒志郎  
石川 浩和  
渡邊 美由紀

C組 吉村 直人  
D組 佐野 陽子  
E組 戸延 正子  
F組 崎山 隆則  
副担任 師岡 典子  
松田 登  
穴澤 淑衣

## 高三学年

A組 嘉戸香奈江  
B組 中野 健  
C組 (主任) 山口 典子  
D組 坂上 岳彦  
E組 田中 延佳  
副担任 内山 立人  
鶴田 充加

## ●教科担任・講師

### 国語科

在原久雄・堀辺洋一・山口典子  
渡邊美由紀・崎山隆則  
守屋嘉代・白石美保 飯高朋子  
梶原幸子・菅井かをる

### 英語科

山室佳子・江川昭夫・宍戸崇哲  
中野健・師岡典子・脇坂秀樹  
穴澤淑衣・兼井達也  
五十嵐眞琴・湯浅雅人  
齊藤成一・藤村由利  
松本一禎・尾藤和加子  
ロバート モレル  
サラ ジェスパーセン  
デイビット ハンドリー

### 地歴公民科

内山立人・片桐正雄・田中延佳  
浦田さゆり・大室光徳

## 数学科

金子芳夫・勝俣康子・絹村大  
吉田安子  
嘉戸香奈江・有路恵造  
二木宏明・吉村直人・橋谷夏実  
井上政子・神田雅子・坂本晃朗  
山崎はるひ・当麻紗弥子

## 理科

松村泰敬・白谷朋子・坂上岳彦  
蛭名元・秀島尉浩  
本橋祥江(助手)

## 保健体育科

松田登・鶴田充加・石川浩和  
真木恒志郎・井上まゆみ  
安藤希沙・結城葉月

## 芸術科

鈴木圭子・戸延正子・桜井直毅  
レイチエル カウオツン  
スアファンヴァン エイケン

## 家庭科

佐野陽子・須賀好美  
情報科 播磨仁志

## 道徳科・生徒相談室

金子芳夫・二瓶リエ

## 茶道講師

山田美子  
養護 鈴木紀子・村山由貴(助手)

## 図書館司書

渡邊美由紀・太田魅紀(助手)

広報室助手 澤木整・鈴木優里  
進路指導部助手 中島直子

## グローバルセンター助手

佐藤真理子

## マルチメディア

千田丈慈・池内ちひろ  
渡辺浩太郎・吉本真一  
林みず枝

## 事務

事務長 廣瀬尚典  
事務次長 小川公一郎  
池田英子・山木幸子  
長谷川智子・西江和比古  
千田律子・千頭和裕子・志村要

# 教職員異動

●退任 (平成22年3月31日付)  
□教諭 有働 康夫

□非常勤講師

坂本正忠・蒲桐枝・  
ネイサン プレストージ  
マーク リンプシヤム  
ギャロライン ニチエイル

●奉職 (平成22年4月1日付)

□教諭 脇坂秀樹

□非常勤講師 穴澤淑衣・兼井達也

サラ ジェスパーセン  
デイビット ハンドリー

# 部活動報告

## ◎ハンドボール部

■第34回全国高等学校  
ハンドボール選抜大会

3月24日、岩手県花巻市で  
行われる予定でしたが、震災の  
影響により中止となりました。

## ■第19回日・韓・中 ジュニアスポーツ交流会

日・韓・中ジュニアスポーツ交  
流会に出場します。全国高校  
選抜チームの選考会に、3D江  
口佳奈、夏目真咲、2D三田  
未稀が参加します。選考され  
ますと、高校日本代表とし  
て、8月に愛知県で行われま  
す、ジュニアスポーツ交流会に  
出場します。

## ◎剣道部

■世田谷区

剣道連盟一級審査

(2月27日 日大櫻丘高校)  
・2相場叶 1・石田真唯  
一級合格

